

September 2023



Study abroad report

University of Findlay



Aoi Iwasaki

September

みなさんこんにちは。

日本はそろそろ涼しくなってきた頃でしょうか。こちらも見渡すと秋の景色が広がっています。かなり冷え込む日もあるので体調管理が大変ですが、楽しい日々を送っています。今回は、アメリカでの生活にもなれ始めた2ヶ月目の留學生活の様子をお届けします。

Labor day

9月の初めにレイバーデー（労働者の日）というアメリカの祝日がありました。今回の報告書は遊び回った三連休の話から始めようと思います。

初めてのアメフト観戦をしました。ドラマや映画でしか見たことがありませんでしたが、実際に見ることができて大興奮でした。ただ、その日はとても暑くてかなり疲れました。よりによってそんな日に日焼け止めを塗るのを忘れてしまった私はその日を境になんか黒くない？といじられるようになりました。アメリカの日差しを舐めてはいけません。

二日目は知り合いのお家に遊びに行って日本食をご馳走になったり、ゴルフカートで池の周りを周遊しました。リッチになった気分です。アメリカ人の生活を体感できました。お家には大きなワンちゃんがいると一緒に遊びました。アメリカの人はペットを飼っている人がとても多い気がします。



最終日はアメリカ人の車を持っている友達にコロンバスのショッピングモールに連れて行ってもらいました。シェイクシャックでご飯を食べたりお買い物を楽しみました。車社会のアメリカに来た留学生の私たちにとって、車を出してくれる友達の存在は偉大です。感謝してもしきれません。本当にアメリカって大きくて、交通手段が少なくってちょっとイライラします。本当に不便です。



Picnic

留学生のピクニックでボーリング・グリーンに行きました。あいにくの曇り空でしたが、公園で自然を感じてリフレッシュできました。この変な写真は、遊具にはしゃぐ20歳-21歳の女の子の様子です。こんなことしちゃうくらい楽しめました。本人たちの許可は得ていませんがお気軽にのり写真なので勝手に載せます。

その後は高校に行ってアメフトの試合を観戦しました。少し前に見にいった大学生のアメフトの試合とはまた違って面白かったです。チアリーダーやマーチングバンドなど、日本では考えられないくらいハイクオリティーのパフォーマンスでした。マーチングバンドの指揮がとてもカッコよかったです。



Cedar point

週末にシダーポイントというオハイオ州にある遊園地に出かけました。イッテQにも出たことがあるとかで行く前から期待大だったのですが、その期待をさらに上回る楽しさでした。本当に楽しかった!!!! 私はこれまでジェットコースターが苦手だと思っていましたが、シダーポイントで実は乗れるということに気づいてしまいました。人生の楽しみをまたひとつつけた記念すべき日です。基本的には10分程度待てば乗れるので、たくさんのジェットコースターに乗りました。人生でこんなにジェットコースターに乗った日はありません。家に帰って寝る時も目を瞑るとジェットコースターの景色が蘇ってくるくらいたくさん重力を感じた1日でした。また行きたいなー!



Leadership Retreat

リーダーシップリトリートに参加しました。学校からバスに乗って2時間ほどの距離の湖のほとりにあるコテージに二泊三日の小旅行に行きました。と言っても、昼にはリーダーシップについての講義を受けます。これが思いのほかしんどかったです。ですが、美味しいご飯も出るし、綺麗なところで大満足でした。夜は星がとても綺麗に見えました。オハイオは田舎で灯りも少ないので、日本より綺麗に星が見えます。朝はお散歩に行って日の出を見ました。このとき疲れすぎて早く家に帰りたいなと思って想像した家はフィンドレーの家でした。自分でも驚くほどアメリカの生活に慣れてきています。また、これまでに関わったことのなかった人ともたくさんお話しできたのでよかったです。夜はインド、バングラデシュ、韓国、日本、アメリカの人たちで集まってマフィアという人狼のようなゲームをしました。これが本当に大盛り上がりで、二日間やりました。国によって盛り上がり方に差があってゲームでもここまで国民性が出るのかと驚きました。この日以来、学校ですれ違うインド人にはHi, Mafia.と声をかけられるようになりました。



Hang out with friends

2ヶ月経ってネイティブのお友達もかなりできました。みんなとっても可愛いです。そして褒め上手です。いつも服装や髪型をいろんな言葉を使って褒めてくれます。褒められて伸びるタイプの私にとって最高の環境です。褒められて嫌な人はいないと思います。この文化は私が絶対に日本に持ち帰りたいと思っている文化のひとつです。会ったときに何かしら褒めるとコミュニケーションがより円滑になるし、お互いの気分も上がります。日本に帰る頃には褒め上手になっていることが最近の私の小さな目標です♪

Playing game



ELL center

ここまでの内容では遊んでばかりじゃないかと思われてしまいそうですが、ちゃんと英語の勉強もしています。ここからは真面目な話をしたいと思います。最近ELLセンターに通っています。ここでは課題や日常の英語勉強で困っているのを助けてくれます。最近の私はネイティブと話すときの会話のバリエーションが同じになってしまっています。やはりインプットがなければアウトプットができないので、知識を増やしたいと思い、ELLセンターでスピーキングをしながらポキャブラリーを増やしています。でも正直、自分の英語力の伸びは自分では全くわかりません。リスニング能力は上がったように感じますが、他の面ではあまり顕著に感じることはできません。他の日本人留学生は話していると、留学当初よりかなり英語力が上がっていることがよくわかります。でも自分の英語力はわかりません。焦ります。そして時々英語が大嫌いになります。その繰り返しです。私はいまだに間違いを恐れて話せないことが多々あります。そんなのもったいないし失敗してそれが学びになるということはよくわかっていますが、私にとっては難しいことです。そんなある日、先月の報告書をネイティブの友達に見せたら、daily life のスペルを間違えてdairy lifeと書いてしまっていたことが発覚しました。Dairy って乳製品は意味らしいです。これでまたひとつ新しい言葉を覚えました。こうやって間違えることで身につけていきます。公衆に晒される報告書で間違ったスペルを使ってるくらいなんだから、日常生活の間違ひなんてどうってことありません。強い心で頑張っていきたいと思います。

Studying English

私はこれまでに「言葉はなまもの」という言葉をよく聞いてきました。アメリカに来て、これまで学校の授業で習ってきた英語とは全く違った日常会話の英語に触れています。スラングもたくさんあるし、年代によって使う言葉も違います。TikTokやインスタで流れてくるidiomなどをネイティブに使うか聞くと、「あんまり言わないよ」「昔の人が使う言葉だよ」と言われたことが何度もありました。考えてみてください。日本語だって若者とお年寄りが使うものは違うし、立場や関係性によっても使い分けます。これを聞くと英語なんて！！と、20年間日本語で生きてきて、今さら他の言語を勉強して何になるんだろうと全てを投げ出したくなります。何よりも悔しいのは、半年間の限界を感じるが多々あることです。たったの半年でペラペラになるのは不可能に近いと思います。それでも私は英語を勉強します。それは、やっぱり言語って面白いと思うからです。学校にはさまざまな国から来た、英語を母語としない人がいます。もちろん私たち日本人留学生もそうです。日本語を使ってコミュニケーションをとれるのは日本人同士しかいません。ですが、ここでは英語を公用語として意思疎通を図ります。日本人よりよっぽど英語を話せる人ももちろんたくさんいますが、同じくらいのレベルの人もたくさんいます。その人たちと英語でコミュニケーションを取れると、英語を勉強する価値を感じます。ネイティブのようにペラペラに話すことはできなくても、コミュニケーションを取る手段が増えることで、より多くの人と関わることが出来ます。これは英語を勉強する価値の一つです。この喜びも留学にきたからこそ得られたものです。そして私は言いたいことを伝えることができる、日本語という第一言語があってよかったと心の底から思います。私は本当におしゃべりが大好きだし、こうやって自分の意見を書くのも大好きです。これは生まれてからずっと日本語を使ってきたから、思ったことや感じたことを言語化できるのです。英語で不便な思いをするたびに、日本語を話せる喜びを感じます。当たり前のことですが、日本にいるときは日本語しか話していなかったのに、こんなに日本語を話せることにありがたみを感じたことはありませんでした。これも留学に来たからこそです。留学前に不安がっていた自分に大丈夫だよと声をかけてあげたいくらい毎日充実していて幸せな日々を過ごしています。もう2ヶ月経ったことに本当に驚きです。帰りたくありません。日々を大切に後悔のない留学生活を送りたいです。それではまた来月お会いしましょう！

